

令和4年度（国語科）授業改善推進プラン

| | 分析と課題 | 授業改善策 | 改善状況 |
|--------|---|--|------|
| 1 年 | <p>アンケート結果から、10%の生徒が、「思考・判断・表現」の力を伸ばすことができていると感じている。</p> <p>成績分布では「思考・判断・表現」の観点において、努力を要するC評価の生徒が約26%存在する。</p> <p>そのため文章を正確に理解する力や、適切に文章表現するための基本的な能力の向上が課題といえる。</p> | <p>◆生徒が「思考・判断・表現」する力を身に付けることができた実感できる学習活動や機会を増やす。</p> <p>◆文章を正確に理解する力の向上を実感できる機会として、単元の初めと終わりで行った読解を比較し、読みの深まりを確認できるようにする。</p> <p>◆適切な文章表現能力の向上のために、短作文を通じて、文章の構成や適切な表現の「型」を身に付けさせる。何度か繰り返し書かせ、能力の向上を実感できるようにする。</p> | ○ |
| 2 年 | <p>昨年度と比較し、教員の話し方の項目で「聞き取りにくい」と回答する生徒が増えた。また、昨年度と比較し「授業のねらいが明確か」という項目で「全く思わない」と回答した生徒が減少した。</p> <p>授業を通して「思考・判断・表現」の力を伸ばすことができたかの項目で「思わない」と回答する生徒が全体の15%いる。</p> <p>以上から、生徒が学習の成果を振り返ったり、実感できる機会が少なかったりすることが課題である。</p> | <p>◆主に「思考・判断・表現」の能力で生徒がどれだけ力を身に付けることができたか確認できる活動や場面を作っていく。具体的には、作文やレポートなどの内容のフィードバックを口頭やワークシートを通して丁寧に生徒に伝えたり、発表や話し合いでは活動の前後で生徒の取り組みの様子を動画等で記録し、それを振り返りの際に活用したりすることで生徒の学びの実感を積み重ねていく。</p> | ○ |
| 3 年 | <p>指導の聞き取りやすさ、的確さ、分かりやすさの項目では多くの生徒が「とても思う」と回答している。</p> <p>授業のねらい、評価の説明についてもほとんどの生徒が満足している。</p> <p>生徒が自身を評価する項目(学習に取り組む姿勢、知識・技能や思考・判断・表現の習得など)で、「とても思う」と回答した生徒の割合が減少した。</p> | <p>◆生徒が自ら「学習に取り組めた」、「知識・技能が身に付いた」、「思考・判断・表現力が身に付いた」と実感できる場を作っていく。具体的には小テストを継続して行い、点数の変動を記録したり、作文や発表などのフィードバックを口頭やワークシートを通して伝えたりすることで、生徒の学びの実感を積み重ねていく。</p> | ○ |

令和4年度（ 数学科 ） 授業改善推進プラン

| | 分析と課題 | 授業改善策 | 改善状況 |
|--------|---|--|------|
| 1 年 | <p>アンケートの結果から、「思考・判断・表現」、「知識・技能」の項目で、60%以上の生徒が十分に力を伸ばすことができた実感できていないことが分かった。</p> <p>成績分布では、努力を要する生徒の割合が「知識・技能」の項目で約20%、「思考・判断・表現」の項目で約40%いることから、「知識・技能」の力を伸ばすことで、その力を応用問題に活用できるようにしていきたい。</p> | <p>◆「知識・技能」の力を伸ばすために、問題演習時間の確保に加え、基本問題の小テストを実施する。また、多くの生徒に回答させる機会を設け、考えることや問題が解けた達成感をもたせていく。基本問題においても、考え方や理屈を丁寧に説明していく。</p> <p>◆応用問題では、「知識・技能」の力を、どう活用できるかの関連性を考えさせ、互いの意見共有をすることで、自分で納得できるよう深めさせていく。</p> | ○ |
| 2 年 | <p>アンケートの結果から主体的に生徒が取り組む項目があまり伸びていないことから、自主的な学習を促す必要を感じた。</p> <p>一方で、「知識・技能」の項目については、伸びていると実感できる回答が少ないことで、テストなどを利用して達成感につなげていきたい。</p> | <p>◆主体的に生徒が取り組む力を伸ばすために、教え合い学習を活発化していく。</p> <p>◆「知識・技能」の力を伸ばすために、課題を出すことで問題を解く機会を増やす。基本問題の小テストを増やし、達成感が得られるようにしていきたい。基礎的な力をつけた上で思考につなげていきたいので、小学校の掛け算の練習と同じぐらいの練習量を取り組めるようにしていく。</p> | ○ |
| 3 年 | <p>アンケートの結果から、教員の話し方・板書・質問への回答・的確な指示・ねらいと評価の説明の項目では、80%以上の生徒が、満足していることが分かった。</p> <p>授業中も、ほとんどの生徒が主体的に取り組む、力を伸ばすことができた実感している。</p> <p>一方で、「思考・判断・表現」の力が身に付いていない生徒も多く、応用問題を解く力を付けることが課題である。</p> | <p>◆「思考・判断・表現」の力を伸ばす活動として、自分の考えを説明させる機会を増やし、応用問題を解く時間を十分に確保する必要がある。そこで、授業でなぜそう考えたのかの説明を答えさせる場面を作り、教え合い学習への積極的な参加を促す。また、教科書の問題Bやリピート学習のB問題などを解く時間を十分に取って、解説を丁寧に行うことで、応用問題を解く力を付けていく。</p> | ○ |

令和4年度（理科）授業改善推進プラン

| | 分析と課題 | 授業改善策 | 改善状況 |
|----|--|---|------|
| 1年 | <p>アンケート結果によると、「主体的に取り組んでいる」「思考・判断・表現の力を伸ばすことができた」「知識・技能を伸ばすことができた」と感じている生徒がいずれも95%を超えている。実際に、定期的に行う小テストの点数は回を重ねるごとに高得点になっており、主体的に学習に取り組んでいる結果、実力も伸びてきていると感じられる。2学期からは、化学分野や物理分野など、より思考判断表現の力が求められる単元に入っていくため、より一層のレベルアップが求められる。</p> | <p>◆実験の前に予想を立てる時間を重視する。そのほかにも、考えさせ、議論することを重視する。また、授業の発問時や実験プリントの記入時に、生徒が自身の考えを論理的に考えられるように、話に誘導を設けることや、ワークシートやタブレットのツールを使用するなど、工夫して指導を行う。</p> | ○ |
| 2年 | <p>アンケート結果によると、「主体的に取り組んでいる」「思考・判断・表現の力を伸ばすことができた」「知識・技能を伸ばすことができた」と感じている生徒がいずれも90%前後いる。また、「質問にしっかり回答している」が90%以上いる。その一方で、授業の最初に行っている小テストの結果を見ると、学習習慣の有無がはっきり分かれてきている。まだまだ基礎力の定着に重点を置く必要がある。</p> | <p>◆図や表を使った説明・板書のしかたを更に心掛け、復習しやすいノートが作れるように指導していく。また、実力向上を目指し実践的な問題演習を取り入れて学力の向上・定着に努める。</p> | ○ |
| 3年 | <p>アンケート結果によると、「主体的に取り組んでいる」「思考・判断・表現の力を伸ばすことができた」「知識・技能を伸ばすことができた」と感じている生徒が94%を超えている。また、「質問にしっかり回答している」が98%に達している。その一方で、領域別診断テスト結果を見ると、都平均より上だが、まだまだ力を伸ばす必要がある。</p> | <p>◆今までの学習の取り組みを継続的に行う一方で、実力向上を図るため、問題演習を行いたい。また、解説プリントや解説授業を行い、学力の向上定着に努める。</p> | ○ |

令和4年度（ 社会科 ） 授業改善推進プラン

| | 分析と課題 | 授業改善策 | 改善状況 |
|--------|--|--|------|
| 1 年 | <p>アンケート結果から、15%の生徒が、「授業のねらい」(目標)と評価についての説明が明確でないととらえている。</p> <p>一方で、成績の分布では、努力を要するCの評価について、「主体的に学習に取り組む」が9%なのに比べ、「知識・技能」が17%、「思考・判断・表現」が21%とかなりの差が見られる。</p> <p>こういった点から、生徒が授業への意欲と取り組みを高められるよう、教材をより吟味することが課題である。</p> | <p>◆教科書や指導書の内容をよく確認した上で、プリントに明記したり、板書を工夫するなどして、ねらいを明確にする。</p> <p>◆評価の面では、発問の工夫やICT機器を活用し、資料を提示してどこを評価するかを示す。さらに、単元ごとに問題集に取り組みせ、机間指導をしながら、個別指導にも配慮する。また、何度も復習ができるように、ノートを使って家庭学習に取り組みさせる。</p> | ○ |
| 2 年 | <p>アンケート結果から各項目に関しては、約90%の生徒が授業に対して肯定的な意見を持っていた。しかし、「1 先生は聞き取りやすい話し方をしている」に関しては13%の生徒が否定的な意見を持っており、自由記述欄にも「話すスピードが少し早い」などの意見が見られた。</p> <p>また、生徒自身の主体性や思考・判断・表現への取組を問う設問では「そう思う」より「まあそう思う」が多くなっていることが課題であると考え。</p> | <p>◆話し方をさらに工夫するだけでなく、授業の全面ICT化を実施し、授業の見える化をさらに進めていくことで理解しやすい授業展開を進めていくとともに、Google クラウドルームなどを活用して復習しやすい環境を整備する。</p> <p>◆グループ活動や発表などの授業をさらに取り入れ、考えて表現し伝えあう授業をさらに増やしていく。</p> | ○ |
| 3 年 | <p>アンケートの結果から聞き取りやすい話し方については83%、分かり易い説明については73%が「良い」と答えているのに対し、主体的に取り組んでいると回答している生徒が50%に満たないことから、主体的に意見を交換し発表したりする活動が少なく考える力が身につけていないのが課題だと考える。</p> | <p>◆コロナ禍のため発表活動を比較的に少なくしていたが、タブレット内での発表など、よりICTを上手に活用して生徒の意欲を高めさせると共に、自ら考え主体的に取り組む力を身につけさせていく。</p> <p>◆発表に対する評価なども適切におこない生徒のやる気を高めさせる指導を行っていく。</p> | ○ |

令和4年度（ 英語科 ） 授業改善推進プラン

| | 分析と課題 | 授業改善策 | 改善状況 |
|--------|---|--|------|
| 1 年 | <p>アンケート結果によると、「思考・判断・表現」の力を伸ばすことができたと感じている生徒が91%、同様に「知識・技能」に関しては88%であった。</p> <p>多くの生徒が積極的に課題に取り組み、単語テストに関しては平均11点(15点満点)、単語調べ、本文写しや文法のプリントの達成率もかなり高い。</p> <p>2学期からスピーチテストや表現の課題が増えるので、苦手な生徒が顕在化してくること、文法に関しても複雑化していくので、1学期の学習内容の定着が不十分な生徒への指導が課題となる。</p> | <p>◆スピーチなどの表現活動に関しては、スモールステップで指導していき、見本の文を多く示すなどすることで「やればできる」課題であることを伝え、取り組ませる。</p> <p>◆1学期の文法事項のうち、特に“Are you～?, Do you～?”の違いが分かりにくいようである。授業で繰り返し問いかけ、どちらを使うべきなのか、なぜそうなるのかを考えさせる機会をつくる。</p> | ○ |
| 2 年 | <p>アンケート結果から、多くの生徒が授業や課題への取り組みなど、主体的に取り組んでいることがわかる。</p> <p>一方で授業が難しいと感じる生徒もいて、生徒によって理解度に差がある。</p> <p>授業のねらいと評価について、理解させること、学習内容の定着を図るための取り組みが課題となる。</p> | <p>◆理解が難しい生徒へは、生徒同士での教え合いなど、生徒同士での学び合いが有効であると考えるので機会を設定していく。</p> <p>◆前時の内容を復習する機会を毎回の授業ごとに設定する。</p> <p>◆授業のねらいや評価の説明が全員に伝わるように、配布する教材や板書を工夫する。</p> | ○ |
| 3 年 | <p>アンケート結果によると、約90%の生徒が、「思考・判断・表現」と「知識・技能」について力を伸ばすことができたと感じている。しかし、どちらの観点についてもA評価を取れている生徒は全体の約50%に留まっているため、目に見える形で、力の伸びを実感することができるような工夫をすることが課題である。</p> | <p>◆「思考・判断・表現」と「知識・技能」それぞれで、自分の力が身についているかを確認する活動を行う必要がある。単元が終わる毎に、その単元目標が達成されているかを確認するテストを実施する。また、結果のフィードバックを行い、できている分野と、伸ばしていく必要がある分野を明確にして、全体の力を向上させていく指導を行っていく。</p> | ○ |

令和4年度（音楽科）授業改善推進プラン

| | 分析と課題 | 授業改善策 | 改善状況 |
|--------|--|---|------|
| 1 年 | <p>アンケートの結果から、「思考・判断・表現」の力を伸ばすことができたと感じていない生徒が1割ほどいる。また、成績の分布でも、Cの評価の生徒が3割ほどいるので、音楽の要素を使いながら言葉で表現できる力をつけることが課題である。</p> <p>授業のねらいと評価についての説明が不十分であると感じている生徒が1割ほどいるので、ねらいと評価を明確にしていくことが課題である。</p> | <p>◆思考・判断・表現の力を伸ばすために、協働的な学習を通して、友人の考えや教員の提示を参考にして音楽について言葉で表現することが必要であるので、友達との話し合い活動を多く設定する。</p> <p>◆題材についての目標と評価がはっきりしないことのないよう、より教材について研究し、単元のはじめに評価の方法について説明する。</p> | ○ |
| 2 年 | <p>アンケートの結果から、「思考・判断・表現」の力を伸ばすことができたと感じていない生徒が13%ほどいる。言葉での表現力が乏しく、成績も、Cの評価の生徒が5割ほどいるので、思考・判断・表現力を伸ばしていくのが課題である。</p> <p>授業のねらいと評価についての説明が不十分であると感じている生徒が1割ほどいるので、ねらいと評価を明確にしていくことが課題である。</p> | <p>◆思考・判断・表現の力を伸ばすために、協働的な学習を通して、友人の考えや教員の提示を参考に、音楽について言葉で表現する場をより多く設定する。提示する際は、わかりやすい言葉を使い、感じたことと言葉を丁寧に結びつけさせる。また、課題をクラスルームにあげ、じっくり吟味できるようにする。</p> <p>◆題材の目標と評価がはっきりするよう、より教材について研究し、単元のはじめに評価の方法について説明する。</p> | ○ |
| 3 年 | <p>アンケートの結果から、「思考・判断・表現」の力を伸ばすことができたと感じていない生徒が1割ほどいる。また、成績の分布でも、Cの評価の生徒が3割ほどいるので、音楽を感じ取る力、感じ取ったことを言葉での表現する力をつけていくことが課題である。</p> <p>授業のねらいと評価についての説明が不十分であると感じている生徒が1割ほどいるので、ねらいと評価を明確にしていくことが課題である。</p> | <p>◆思考・判断・表現の力を伸ばすために、協働的な学習を通して、友人の考えや教員の提示を参考にして音楽について言葉で表現する場をより多く設定していく。また、課題をクラスルームにあげ、じっくり吟味できるようにする。</p> <p>◆題材についての目標と評価がはっきりしないことのないよう、より教材について研究し、単元のはじめに評価の方法について説明する。</p> | ○ |

令和4年度（ 美術科 ） 授業改善推進プラン

| | 分析と課題 | 授業改善策 | 改善状況 |
|--------|---|--|------|
| 1 年 | <p>アンケート結果から94%以上の生徒が概ね授業は分かりやすく、自分の資質・能力を高めることができていると感じている。</p> <p>一方、学習内容や評価について分かりにくさを感じている生徒も少数、見られる。</p> <p>配布資料から、基礎的な知識が習得できていないこと、また、生徒が明確に自分の学習状況を把握できていないことが課題といえる。</p> | <p>◆生徒一人一人の学習状況に応じて主体的に学習に取り組めるように、分かりやすい資料作成に努める。特に1学年では基礎的な「知識・技能」をより深く学習できるように改善する。</p> <p>◆評価規準とともに基準も示し、どの程度の資質・能力を養おうとしているのかを分かりやすく伝える。また、自己評価によって目標に対する達成度を意識させ、「自らの学習を調整する力」の向上にも繋げる。</p> | ○ |
| 2 年 | <p>アンケート結果から90%程度の生徒がねらいを理解し、自分の資質・能力を高めることができていると感じている。反面、主体的に取り組めない生徒や、自身の能力がなかなか伸びないと感じている生徒も見られる。</p> <p>より多くの生徒が意欲的に取り組めるように、達成感を味わえる授業展開を考える必要がある。</p> | <p>◆生徒一人一人の学習状況に応じて主体的に取り組めるように、分かりやすい講義、資料作成に努める。特に1年時に学習した内容を応用して、「思考・判断・表現」の向上を意識した授業を展開する。</p> <p>◆評価規準とともに基準も示し、どの程度の資質・能力を養おうとしているのかを分かりやすく伝える。また、自己評価によって目標に対する達成度を意識させ、「自らの学習を調整する力」の向上にも繋げる。</p> | ○ |
| 3 年 | <p>アンケート結果から93%以上の生徒が概ね授業は分かりやすく、自分の資質・能力を高めることができていると感じている。</p> <p>一方、板書や資料に分かりやすさを求めている生徒も見られる。資料から知識を習得しにくいことが課題になっている。</p> <p>また、「思考・判断・表現」の能力の向上は実感しにくいようで、評価についての質問をしてくる生徒も見られる。生徒が明確に自分の学習状況を把握できていないことが課題である。</p> | <p>◆生徒一人一人の学習状況に応じて主体的に学習に取り組めるように、分かりやすい資料作成に努める。特に3学年では、より良く表現するためにどのような工夫があるのか例を示して、表現に関する「思考・判断・表現」の育成を促す。</p> <p>◆評価規準とともに基準も示し、どの程度の資質・能力を養おうとしているのかを明示する。また、自己評価によって目標に対する達成度を意識させ、「自らの学習を調整する力」の向上にも繋げる。</p> | ○ |

令和4年度（保健体育科）授業改善推進プラン

| | 分析と課題 | 授業改善策 | 改善状況 |
|--------|---|---|------|
| 1 年 | アンケートの結果から、76%以上の生徒が、授業のねらいや目的を理解して授業に取り組んでいるので、今の生徒の現状に合った指導のめあてや振り返りを設定できている。課題は、思考力・判断力・表現力、知識・技能が上達したことをあまり実感できていないことで、2学期は生徒が実感できる機会を増やすなど、改善する。 | ◆単元の到達目標に対しての本時の位置付けを文章として明示したり、発話することで、何に取り組むのか明確にさせていく。また、思考力などを高めていくために、複数人数での学習の場を設定していく。自分の考えを他者に伝えたり、他の意見を取り入れるために考えたりすることができるように学習環境を改善していく。 | ○ |
| 2 年 | アンケート結果から、「思考・判断・表現」の力を伸ばせていないと感じている生徒が10%いることが分かった。また、定期考査においても平均点は64点と昨年度に比べて正答率が向上していたが、「思考・判断・表現」の項目は正答率が50%程度であった。 よって、場の設定や判断基準を明確にすることを通して、授業内で思考する場面を増やしていくことや、誰にでも分かりやすいプリントの作成をしていくことが課題である。 | ◆各単元において、技能のポイントの説明や、力の入れ方、タイミング等の説明に割く時間が多く、その理由や自らポイントを発見させていく場面が1学期は少なかったもので、映像撮影後の振り返りや、ポイントを説明した上で思考する機会を設定していく。 ◆また、プリント等でも考えを説明させるなどして言語化し、それが正しい考え方なのかを振り返られる時間を設定し、「思考・判断・表現」の力が伸ばせるよう改善していく。 | ○ |
| 3 年 | アンケート結果から、「①知識・理解」「②思考・判断・表現」の力がとても向上したと感じている生徒の割合が約50%と少ない。一方、成績分布では①に関してC評価1%。②に関してC評価10%となっている。①に関して約99%、②に関して90%の生徒は平均的な力が身に付いているにも関わらず、自分の力の成長を実感できていないことが考えられる。よって成長を確認できる場の設定が課題である。 | ◆「知識・技能」「思考・判断・表現」の力を伸ばす活動、また、自分がどれだけの力を身に付けているかを確認する活動が必要である。そこでその力を伸ばす課題や力試しの課題を用意する。そして、教員が手本を示すことや分かりやすい資料を提示すること。また、生徒が動きやすい指示を出し、自ら積極的に取り組めるようにしておく。 | ○ |

令和4年度（ 技術科 ） 授業改善推進プラン

| | 分析と課題 | 授業改善策 | 改善状況 |
|----|---|--|------|
| 1年 | <p>授業ごとの目標を簡潔に毎回提示し、生徒に興味深く取り組ませることができた。</p> <p>聞き取りやすい話し方ではないと思う生徒が12%いることから、聞き取りやすい話し方への改善が必要である。</p> | <p>◆広い木工室での授業なので声が届きやすいような工夫をしていく。ホイッスルやブザーなど、声よりも音が届きやすい道具を活用する。</p> <p>◆コースター作りは完成した生徒が多かったが、立体作品作りは個人差が大きく、全員が目標に向かって取り組めるような工夫をする。</p> | ○ |
| 2年 | <p>授業ごとの目標は毎回提示し、生徒はよく理解しながら取り組んでいた。</p> <p>聞き取りやすい話し方への改善が必要である。</p> | <p>◆広い木工室での授業なので声が届きやすいように、明瞭に話す。視聴覚教材の活用など、集中力を高めるような工夫をする。</p> <p>◆2学期のラジオ作りは1学期のミニトマトの栽培より難易度が上がるので、活動しやすいように道具置き場と活動場所をはっきりと分け、何がどこにあるか示す。</p> | ○ |
| 3年 | <p>学習のねらいや評価の観点が十分に理解されていない。</p> <p>授業内の資料だけでは、イメージが捉えられず、分かりづらさを感じている生徒がいる</p> | <p>◆学習のねらいを授業開始時に提示し、評価の観点を明確に知らせる。また、授業の終わりには、ねらいを達成できたか確認する。</p> <p>◆多くの資料を提示することで、様々な観点からイメージを掴めるように授業展開を工夫する。</p> | ○ |

令和4年度（ 家庭科 ） 授業改善推進プラン

| | 分析と課題 | 授業改善策 | 改善状況 |
|--------|--|---|------|
| 1 年 | <p>アンケート結果から、90%以上の生徒が「自分は思考・判断・表現の力を伸ばすことができた」と回答しているが、「とても思う」と感じている生徒は35%だった。また、成績分布も、思考・判断・表現の評価はAがとても少ない。</p> <p>よって、思考・判断・表現の力を高め、自信を持てることが課題である。</p> | <p>◆「思考・判断・表現」の力を伸ばす活動や自分がどれだけの力を身に付けているかを確認できる活動が必要である。そのために、レポートなどの記述の仕方を確認し、ワークシートなど日々の学習を活用できるようにする。</p> <p>◆クラスルームで評価を振り返れるようにすることを継続する。</p> | ○ |
| 2 年 | <p>成績分布は1年生と大きな差がないが、得点率は小テストが低かった。また、アンケート結果も全項目で「とても思う」が10%ほど低い。</p> <p>よって、基礎的な内容をこまめに定着させ、できる実感を得られるようにすることが課題である。</p> | <p>◆授業毎の内容をこまめに確認する機会をつくり、身に付いていることを確認できる活動をする。</p> <p>◆そのために、授業の終わりの時間をもっと確保し、授業の振り返りをじっくりできるようにする。</p> | ○ |
| 3 年 | <p>成績分布から、提出物やテストは得点率が70~80%だった。評定も3~5が多い。また、アンケート結果もすべての項目で「とても思う」が60%をこえている。一方で、資料などの見やすさや、説明について「見づらい」などの自由記述があった。</p> <p>よって、資料や説明をより分かりやすくすることが課題である。</p> | <p>◆活動方法や活動内容、成績評価の方法などが確認できるとよい。よって、活動の目安や手順が確認できるような、板書を継続し、全体で改めて確認する。また、課題は例を用意し、どのように書けばよいか分かりやすくする。</p> | ○ |